

会議録	
名称	平成30年度2月富士見市図書館協議会
開催日時	平成31年2月9日(土) 午前10時00分～12時00分
場所	中央図書館レセプションルーム
出席者	<p>○図書館協議会委員 渡辺志津子委員長 小森和雄委員(職務代理者) 木村多喜雄委員 佐藤千枝子委員 長ヶ原美博委員 野瀬武博委員 山崎美晴委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 鳥海課長 松田副課長 古川主査 矢澤主事補</p> <p>○図書館 原田中央館館長 神山副館長 長谷川鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 紀伊國屋書店公共図書館部 宮本 青崎</p>
欠席者	渋谷八重子委員、関根衣都美委員、本間雄一委員
公開・非公開	公開
傍聴	なし
次第	<p>○報告・連絡事項</p> <p><input type="checkbox"/>平成30年12月～平成31年1月事業報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館)</p> <p><input type="checkbox"/>富士見市立図書館の開館時間変更について</p> <p><input type="checkbox"/>第3次富士見市子ども読書活動推進計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度「富士見市子ども読書活動に関するアンケート調査」報告 ・学校での読書活動取り組み状況アンケート報告 ・学校・図書館との連携状況報告 <p><input type="checkbox"/>その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会2月定例会次第 ・平成30年12月～平成31年1月事業報告 (中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館) ・「富士見市子どもの読書活動に関するアンケート調査」結果

	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動についてのアンケート ・平成30年度富士見市 学校・図書館 連携事業 ・富士見市立図書館広報誌『さざなみだより』ほか ・平成30年度図書館要覧 ・第2次富士見市教育振興基本計画
会議録確認	渡辺委員長
議事内容	
<p>1 開 会 神山副館長</p> <p>2 委員長あいさつ (渡辺志津子委員長)</p> <p>3 各館からの事業報告</p> <p><中央図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に音訳者初級講座受講生の勉強会、1月のミニ展示、第1回富士見子どもビブリオバトル大賞、「サンタクロースがやってくる」、貸出福袋について説明。 <p><鶴瀬西分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に福袋、スタンプラリー、鶴瀬小学校・つるせ台小学校入学説明会、学校連携、親子で楽しむリトミックについて説明。 <p><ふじみ野分館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に大人のためのおはなし会、館内百人一首あわせ、新春おはなし会（郷土かるた大会）について説明。 <p>【質疑応答】</p> <p>委員：（ふじみ野分館）新春福袋の新聞紙バックに利用者が興味をもったということだが、今度は12月中に利用者参加の講習会として、新聞紙バックをつくってもらい、さらに、YA世代に福袋に入れる本も選んでもらうということをしてみてはどうか。</p> <p>図書館：ふじみ野交流センターが2月に新聞紙バック作りの講座をされる。そういった講座とのコラボも考えていきたい。</p> <p>委員：（ふじみ野分館）ふじみ野交流センタークリスマス会を文京大学パネルシアターサークルと一緒にこなっているが、文京大学とは、いつも交流があるのか、また、ふじみ野市にある大学だが、どういう経緯があって一緒にやるようになったのか。</p> <p>図書館：クリスマス会は支援センター、文京大学パネルシアターサークル、図書館がそれぞれ別の演目をしている。文京大学パネルシアターサークルは、ふじみ野交流センターが連携をされていて、その経緯などはわからない。</p>	

委員：大学でも地域連携を考えている。この辺りで地域連携をしているのは淑徳大学。文京大学もしている。最近では難波田城資料館では尚美大学の学生と連携し、企画展もしている。せっかくなので、ふじみ野分館も文京大学とやってみようか。

また、いろいろな場所で大学の先生が携わっているので、アンテナをめぐらせるといいのでは。

委員：ふじみ野分館は絵本も沢山あるので、そういったところを生かしていくとよいのでは。

図書館：今後積極的に声をかけていきたいと思う。

委員：（人材バンクについて）人材バンクは生涯学習課の所管である。何かわからないことなどあったとき、やりたいことがあったときは、人材バンクに相談・利用するとよい。人材バンク制度そのものの周知にも良い。

図書館：富士見市子どもビブリオバトルのビデオ撮影について、ふじみビデオクラブ様にお世話になった。連携を来年度もお願いしたい。

委員：富士見ビデオクラブは現在4/24の子どもフェスティバルも依頼を受けている。市内からの依頼は出来る限り協力していきたい。

図書館：富士見ビデオクラブには、80年代からの郷土資料のデジタル化もしていただいている。

委員：現在半分以上整理が進んでいる。

図書館：この郷土資料のデジタル化は教育委員会とビデオクラブとのことであったと思うが。

委員：郷土資料デジタル化のきっかけは、個人としてのボランティアが始まりだった。しかし、個人では限界があるので、教育委員会に要望したことからはじまった。

委員：デジタル化したものの目録はどうなっているか。

委員：現在紙の資料のみで、まだできていない。

データ化は、VHFはあと50本ほど。8mmなどはまだ。

委員：図書館の資料だけでなく、各資料館などからもデータをもらい、優先順位をつけてデジタル化をしていくといい。全体の取りまとめは生涯学習課が行い、実行はいろいろな箇所へ指示をだしていくのがよいのではないか。生涯学習課はこういった現状を把握しているか。

生涯学習課：現段階ではデジタル化の予算化はしていない。お任せしてしまっているのが実態である。

委員：ビデオクラブはボランティアでやっているのか。

委員：そうである。ビデオクラブが撮影したもののなので、閲覧できるようにその集大成と考えてしている。

委員：図書館でもどこまで終了しているか、わかっていたほうがいいのではないか。

図書館：ビデオクラブともっと連絡をしていきたいと思う。

委員：将来的には目録を作っていくかといけない。デジタル化の終了の時期はいつぐらいか。

委員：時間があるときにクラブ員が作業をしているのでわからない。VHSについては3年で半分くらい。特殊なテープについては、できるかどうか、わからない。

委員：出来たものからでも、市民に公開できたらいいのではないか。著作権についてはどうか。

委員：地元の方や市の広報が撮ったものがほとんどなので、大丈夫なのではないか。

委員：郷土資料の収集は指定管理業務に入っているもので、著作権がクリアになっているものから目録をつくり、公開していく。全部は先の話だが、まず1本から始める。そのルートをつくっておくことが後につながっていく。

4 富士見市立図書館の開館時間変更について

- ・生涯学習課より報告。図書館条例の利用時間の変更が12月の定例会にて可決したので、平成31年4月より、正式に開館時間を9時からとする。

5 第3次富士見市子ども読書活動推進計画について

- ・平成30年度「富士見市子ども読書活動に関するアンケート」調査報告
生涯学習課より資料に基づき報告。
- ・学校での読書活動取り組み状況アンケート報告
山崎委員より資料に基づき報告。特に読み聞かせ、貸出数について説明。
アンケートをあえて校長を通して行なったことによって、校長が自校を把握できて良かったと思う。また、鶴瀬小学校は富士見子どもビブリオバトル大賞に参加したことによって、その成果がでている。児童からの発案で学級ビブリオ大会をしようという声もでている。市内全校で実施できるように進めることによって読書推進されるのではないかと感じる。
- ・学校・図書館との連携状況報告
中央図書館より資料に基づき報告。30年度の連携の有無・内容について説明。東中学校、西中学校に関しては項目事項については連携がないが、西中学校は富士見子どもビブリオバトル大賞のビデオ投票で協力をいただいた。

【質疑応答など】

委員：「富士見市子ども読書活動に関するアンケート」の質問5、学校の図書室に行かない理由「読みたい本がないから」について。学校図書室も沢山貸出をしている。読みたい本を常時置いておくのは難しい。学校図書室に図書館 OPAC が置いていないことは痛い。富士見市全体にどのような本があるかわからないといけない。OPAC の連携について以前図書館から報告があったかと思うが、どうか。

図書館：学校司書数名から、学校図書の選書・廃棄基準などがわからないと相談される。まず、その基準をつくっていかないといけない。現状として各学校に学校司書が使える PC をおいて、蔵書をデータ化し、どの学校にどの資料があるのか把握していくことが大事。最終的には電算化していくべきである。

委員：学校図書室が廃棄した資料を子どもたちに提供することによって、図書室に興味をもってもらえるのではないか。

また、図書館協議会として学校司書が使える PC を置きたい旨の要望を市に提言していきたい。さらに、今後こういうことをやりたいと言う事を各委員で考えてほしい。

学校連携の格差もなくしていきたい。今現在、連携がない東中学校についてできることはないだろうか。

図書館：今現在、図書館は待っているだけだが、学校に状況を伺い、こちらから公共図書館が出来ることを先生と直接お話していきたい。また、学校司書研修会でも学校司書にお声がけしたい。

委員：子ども達の「読みたい本がない」という気持ちを少なくしてあげたい。学校司書からのリクエストは受けられるのか。その予算はあるのか。

図書館：その予算自体はないが、リクエストは受けられる。

委員：学校図書室にないものは図書館にリクエストをしようと案内する。図書館のリクエストカードを学校図書室においてはどうか。リクエストカードを持って、公共図書館に行こうと促してはどうか。また、書店との協働も大切で、予約が多くなかなか回ってこない本の対策について、図書館だけでなく書店なども同時にのせたマップも用意し、案内をするとよいのではないか。

図書館：鶴瀬西分館のスタンプラリーは学校図書館が休みの期間に行っている。長い休みの前後1週間を含めて学校図書館がつかえないときは、公共図書館においでというスタンスである。

委員：東中学校に対して学校図書館が開いていない時期に、スタンプラリーを行ってはどうか。読みたい本が読めるよう、子ども達の希望がかなうようにがんばりましょう。

図書館：学校でのアンケート、大変ありがたく思う。読書コンクールのポップやビブリオバトル大賞のビデオ投票に参加していただいた学校が普

段図書館と結びついていない学校からも沢山参加いただいた。今後、このアンケートを基にして、こちらから積極的にPRをしていきたい。

委員：学校に行くときは、必ず学校司書を加えてほしい。

図書館：こちらからも、学校にもやり方なども勉強させてもらいたいと思う。鶴瀬小学校の子ども達の中でビブリオバトルが浸透してきているということは本当に嬉しい。これからもその効果を他の学校にも伝えていく手がかりとなる。

生涯学習課：東中学校は読書コンクール（POP）に多くの生徒が参加してくれた。図書館とは繋がりが薄いだけで、意欲のある学校だと思う。

委員：学校・図書館連携のアンケートの項目に「その他」項目を作り、読書コンクール、ビブリオバトル大賞を入れてほしい。

子ども読書推進は、このように進むが、生涯学習課としていかがか。

生涯学習課：きっかけが大切である。本来ならばもっと早くやらなくてはならなかったが、今後進めていきたい。

委員：本日配布されている「富士見市教育振興基本計画」にも関わってくるので、資料を読んでおいてほしい。

6 その他

○来年度の図書館協議会の開催回数と日時について。

委員：年6回の開催となっているが、6月から始まって年4回、5回という案もある。現在土曜日の開催だが、職員の勤務体制・図書館の混雑状況などから平日金曜日の午前中に開催することも考えていく。

生涯学習課：具体的な日程・回数は、年度初めまでに決めていければ。

図書館：来年度5月の最終のあと、年4・5回を考えている。子ども読書推進計画の進捗、障がい者サービス、視聴覚ライブラリーの役割・機能などについても現在進行している。これらを協議していきたいと考えている。

次回は3月9日（土）に開催

来年度の要望を2月25日までに中央図書館に提出。

7 閉会（渡辺委員長）